



道誠寺のみなさん
左から釣谷さん、青山さん、古賀さん、前住職、住職



27日 逮夜法要

千葉組道誠寺（市川市）ご門徒の古賀幸子さん、青山美智子さん、釣谷昭紀さんに、逮夜法要に参詣されて印象に残ったことなど感想をお聞きするとともに、「ご自身のこれまでの歩みなどをお伺いしました。」

古賀 コロナになる前に、道誠寺で企画してくれたバスツアーで真宗会館には来たことがあります。教区の報恩講に参詣するのは今回初めてです。今日、お参りさせていただいて、気持ちが上がった感じがします。今日はお寺さんに誘っていただき、一緒にお勤めが出来てとても有難いと思っています。

青山 主人が元気だった時は、真宗会館には何度も来て、報恩講ではお斎もいただきました。私は岐阜県の出身なのですが、私のおじいさんが熱心にお寺に足を運んでおりました。

彼岸のときなどはお寺に泊って、私も一緒にお寺のお手伝いをさせてもらっていました。私もお東さんのお寺の幼稚園に通いまして、幼い頃から親鸞聖人のお話を聞かせてもらいました。子どもだけの報恩講や蓮如上人の法要も必ず参詣していましたから、お東さんとはい切っても切れないご縁です。

古賀 私は九州の出身なので、感話の藤井さん（九州出身）の言葉のなまりが懐かしかったです。法話は難しかったです。聞いているとやはり勉強になります。

釣谷 私は北海道出身ですが、父や祖父は石川県の出身で、戦時中、一族で北海道へ来ました。父や祖父母は、朝一番にお内仏に手を合わせていました。そういう姿を見て教えられてきましたから、集団就職で東京に出て来たときには、お寺を紹介してもらい、道誠寺にご縁が出来ました。今ではとても良かったと思っています。兄弟や子どもたちが、近くに住んでいけば、お寺の行事にも連れて行きたいと思っています。お寺にも法話会等で月に2、3回行くこともありますからね。やはり法話を聴くことは大事ですね。そして、『ネ